

核医学検査説明書：安静心筋シンチ (MIBG)

検査名 安静心筋シンチ (MIBG)

《説明：0079 心 MIBG》

使用する放射性医薬品： 3-イodobenzilguanidate(123I)注射液 (123I-MIBG)

検査予定日 同意書に記載

目的

心筋（心臓の筋肉）の交感神経機能について調べます。

心筋に集積する特徴を持つ放射性医薬品（放射線を出す薬）を注射し、薬が心筋に運ばれ分布した状態をガンマカメラという装置で撮影することにより交感神経機能を調べることができます。

本検査で得られる画像は、適切な診断や治療計画を行う上で役に立ちます。

検査手順

食事制限はありません。

1. 放射性医薬品を静脈注射します。
2. 30 分後、撮影します。(約 20 分間)
3. 4 時間後再度撮影します。(約 5 分間)

副作用

放射性医薬品による副作用発生率： 2 万人に 1 人と報告されています。

(副作用としては、発疹、嘔気、血圧低下などがあります。)

被ばく

使用する放射性医薬品による被ばく線量は約 2mSv です。

(参考：胸部～骨盤部の単純 CT における被ばく線量は約 13mSv)

検査はその有益性が、被ばくの危険性を上まわると判断した時のみ行います。

検査後の注意

検査後も、わずかな放射線が体内から放出されていますので、放射性医薬品投与後 12 時間は乳幼児との密接な接触は避けてください。

授乳中の方については、注射後最低 3 週間の授乳制限をしていただきます。

※妊娠中または妊娠の可能性がある方には検査を行いません。

※予約の変更は、検査 2 日前までをお願いします。(連絡先：053-474-2222 内線 2965)

